

器

看護学科 綾部 光芳

チーム医療の重要性が認識されてからかなり経つが、醸成されたチームを作ることは一筋縄ではいかないようだ。チームを構成する人は多職種であり、それぞれの特性を理解し合うまでに時間がかかる。やっとよいチームができたと思っていたら異動のためチームワークの良さは継続できなくなる。

「右手にロマン、左手にそろばん、心にジョーダン」。リクルートで数々の名雑誌を生み出したくらたまなぶ氏の言葉だそうだ。チーム運営するリーダーには、理念（ロマン）、戦略（そろばん）、心のゆとり（ジョーダン）を備えた器の大きい人が最適という。余裕がなく、いつもイライラして感情的になる人は、器が小さいとみなされてしまう。器には、度量や器量、ハート、包容力、大胆さ、戦略性など、様々な意味が含まれている。

「ホンマでっかTV」で放送された器の「大きい人診断」でいくつかの質問があった。「正直で器の大きい人」がわかる質問（何かにこだわりはありますか？。A：ある。B：ない）では、正直で器の大きい人は「こだわりがある人」で、とくに理系の人は正直に理詰めして話すので、そういう意味では器が大きいらしい。欠点としては、正直に信じる可能性もあるので騙されやすい人もいえ注意が必要のようだ。また、豚の絵の書き方によって家族や友人に対して器が大きいかがわかる質問（豚の全身像を描けと言われたらどう書きますか？）では、豚の向きがポイントとされている。左向きの絵を描いた方は、過去への関心が強く、家族や友人を大切にする傾向があるとのこと。人間は左から右へ時間の流れを考えることが多いことが根拠とされていた。正面向きの絵を描いた人は現在への関心が強く、過去に関しては言われて思い返すような人であると……。さらに、器を大きくするための秘訣として、怒らないようにすること、人の悪口を言わないようにすること、人を見下さないようにすること、決め付けに掛からないこと、自分の意見の正当性を主張しすぎないことだとか……。

『人間力アップ！「器の大きい人になる術」を笑福亭鶴瓶に学ぶ』で鶴瓶さんは若いときから 1) 自分から挨拶する（相手の心を開く） 2) 自分の恥ずかしいことを話す（相手をリラックスさせて話しやすくする） 3) 相手を笑わせる（相手が心を開く）ことを心がけてきたとのこと。「ご縁」をとことん大切にすれば

1) 「人が集まるオーラ」が出てくる 2) 相手の警戒心を解ける 3) 信用されるようになるとも……。 「鶴瓶の家族へ乾杯」で登場する人が人間力をアップしていく姿をみると、自分も人間力が増した気になってくる。